



BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II

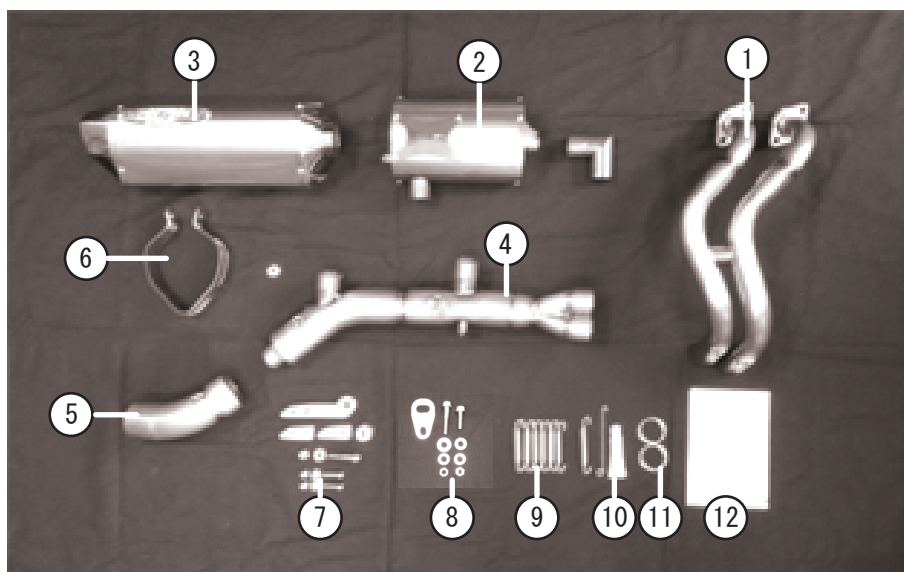
YAMAHA MT07 (`14 ~ `17)

取扱説明書

⚠ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



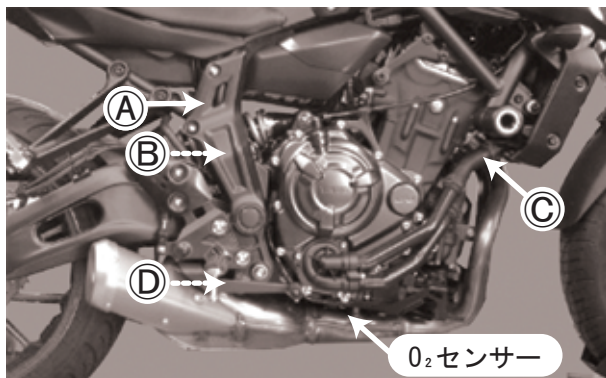
1	エキパイ	7	サイレンサーステーセット
2	サブサイレンサーセット	8	サブサイレンサーステーセット
3	サイレンサー	9	スプリングセット
4	集合部	10	耐熱シリコン
5	テールパイプ	11	エキパイガスケット
6	サイレンサーバンドセット	12	保証書セット

I ノーマルマフラーの取り外し



注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。



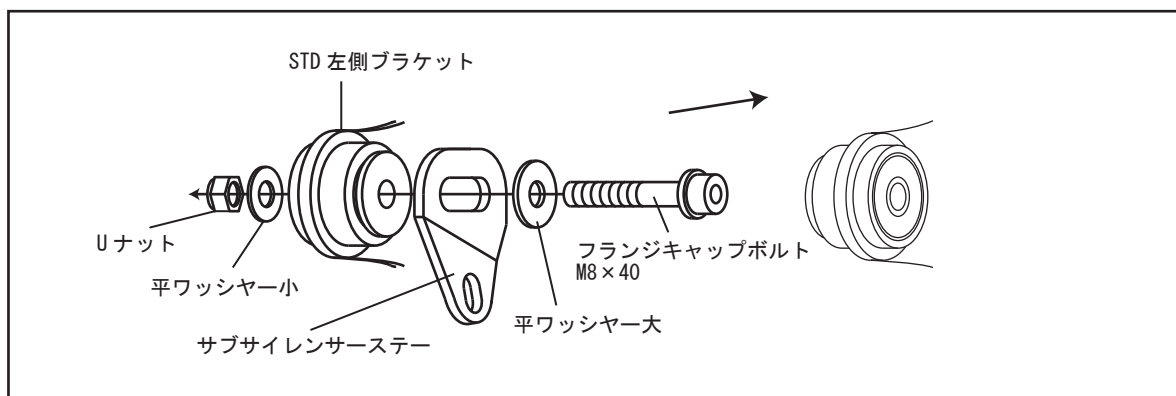
HINT

ノーマルマフラーは重量が重いのでジャッキ等を使用することをおすすめします。

- O₂センサーの取り外し。
 - ①カバー、②O₂センサーカプラー、O₂センサーの順に取り外します。
 - マフラー本体下部をジャッキ等で支え、③ナット、④ボルト2本 (R, L) を外しマフラー本体を取り外します。
- * ③ナットは BEET ナサートマフラー取り付け時使用します。

II ナサートマフラーの取り付け準備 1

【サブサイレンサーステー取り付け】

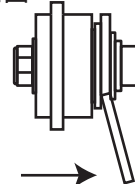


- STD 左側ブラケットに付属のサブサイレンサーステーを図のように取り付けます。

(仮締めの状態にしておきます。)

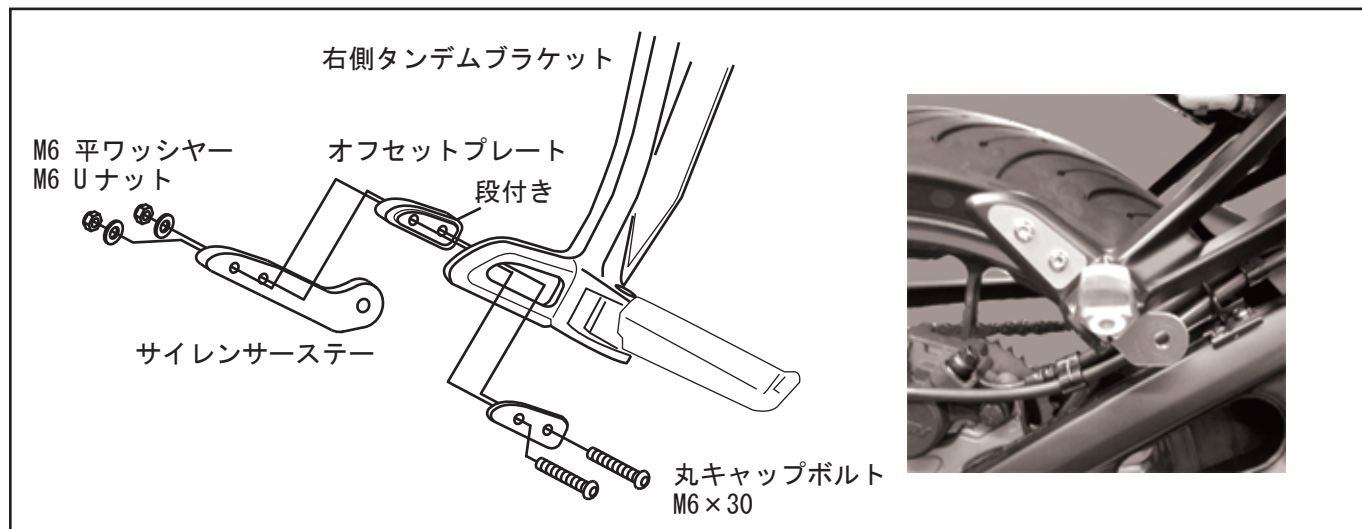
ステーの向きに注意。

後方から見た図



Ⅱ ナサートマフラーの取り付け準備 2

【サイレンサーステーの取り付け】



- 右側タンデムブラケットの長穴部分に、
付属のサイレンサーステー部品を取り付けます。
(仮止めの状態にしておきます。)

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

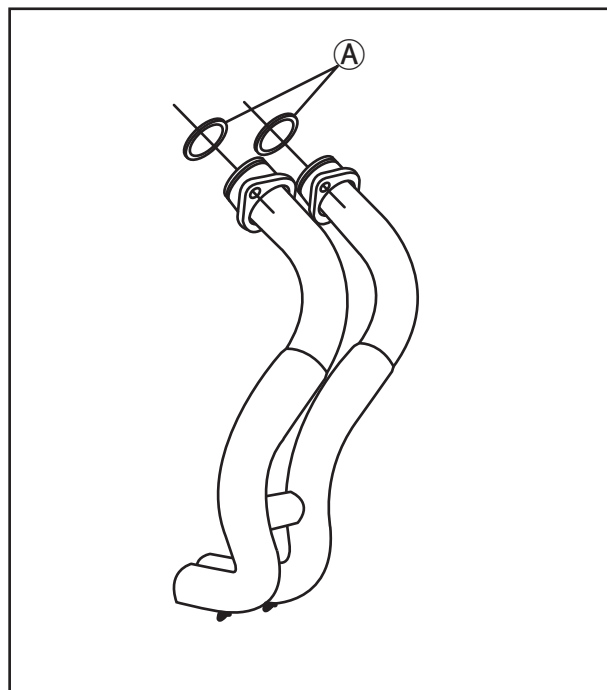
【エキパイの取り付け】

- エキパイガasketを付属①
に交換します。

HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと
落下防止になり取り付けやすく
なります。

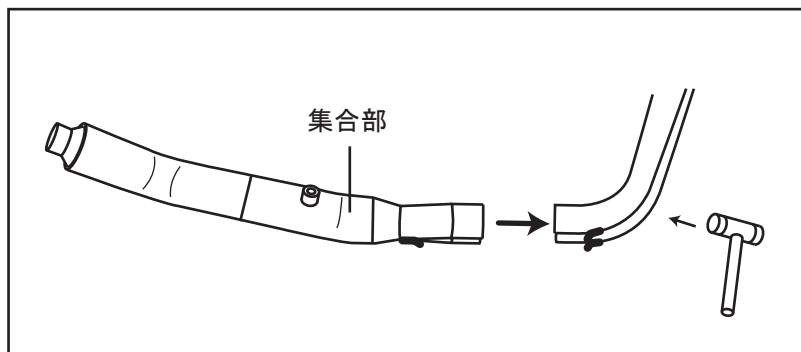
- ノーマルのナットを使用して
取り付けます。
(仮止めの状態にしておきます。)



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

【集合部の取り付け】

- 集合部をエキパイに取り付けます。
- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。

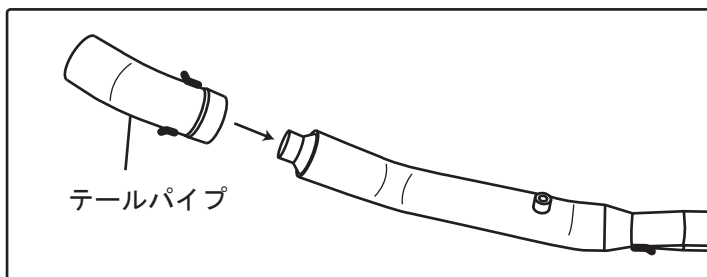


(HINT)

集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。

【テールパイプの取り付け】

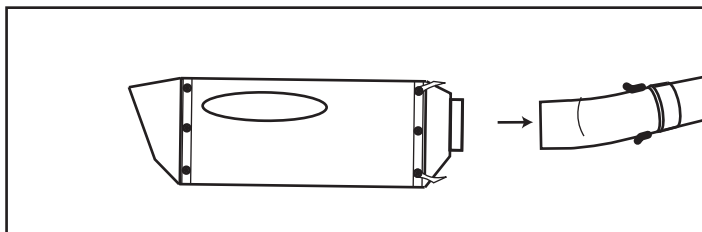
- テールパイプを集合部に差し込みます。



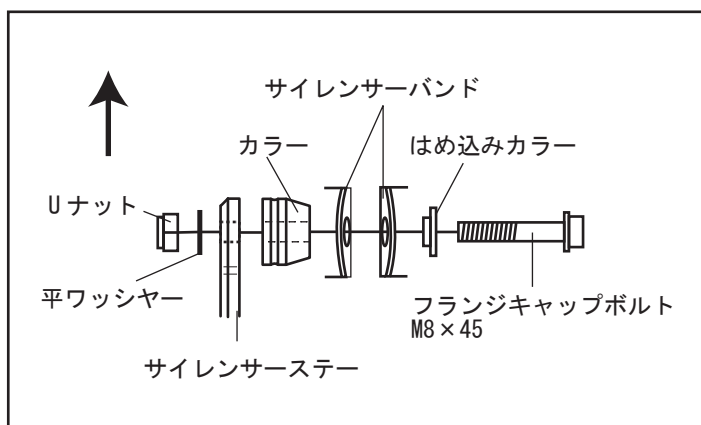
※裏側フックが直線上になるようテールパイプを合わせます。

【サイレンサーの取り付け】

- サイレンサーを取り付けます。



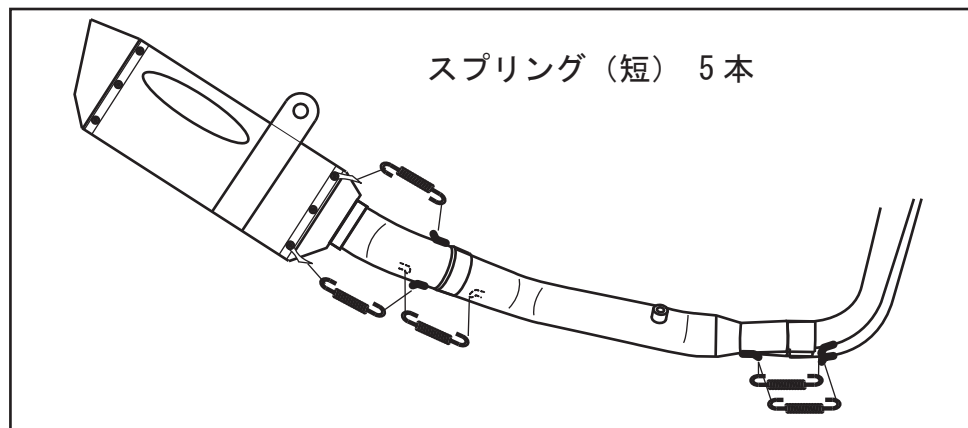
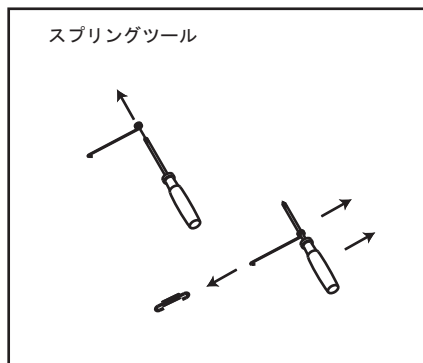
- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し図のように取り付けます。
- ※ 仮締めめの状態にしておきます。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 3

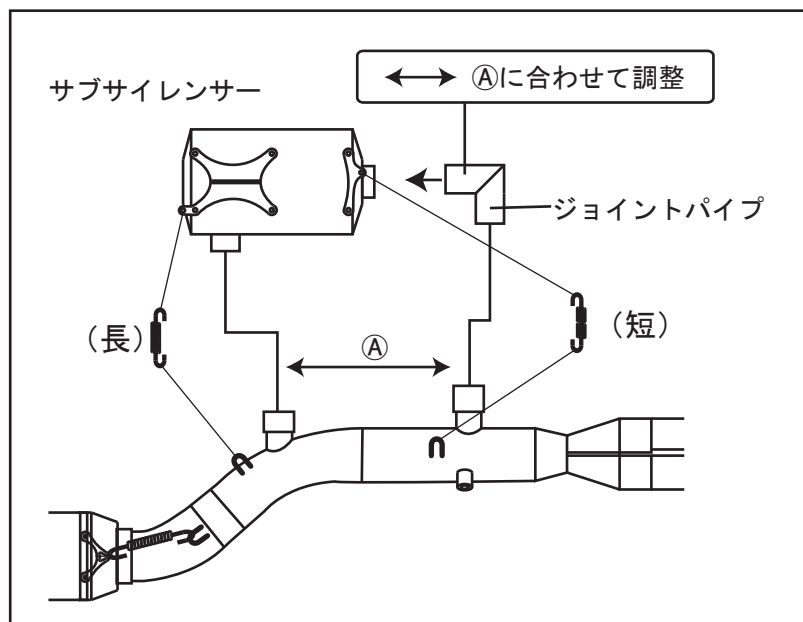
【スプリングの取り付け】

- スプリング（短）5本を
図のように取り付けます。



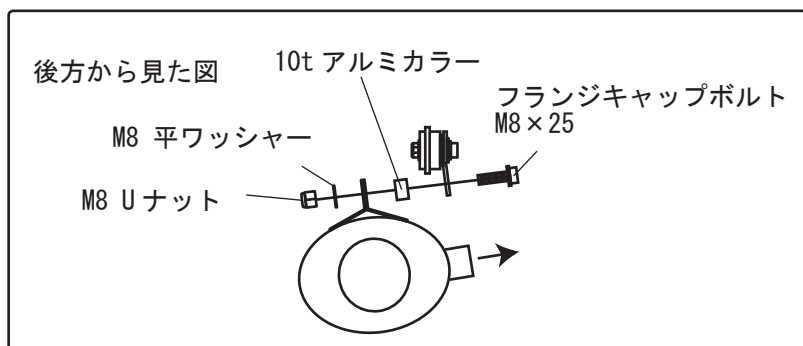
【サブサイレンサーの取り付け 1】

- サブサイレンサーにジョイントパイプを
取り付け
集合部差し込み部分の長さ(A)に調整し
集合部に取り付けます。
- スプリングを取り付けます。
（短）は前方側
（長）は後方側



【サブサイレンサーの取り付け 2】

- 図のようにサブサイレンサーを
仮止めします。



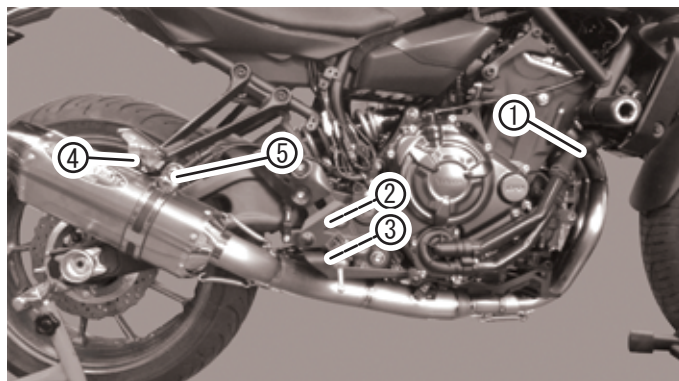
この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 4

【本締め】

次の順で本締めしていきます。

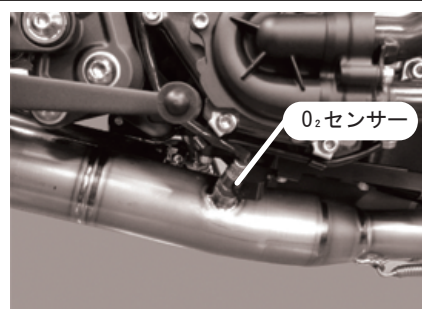
- ① エキパイフランジナット
- ② サブサイレンサーステー上
- ③ サブサイレンサーステー下
- ④ サイレンサーステーとタンデムブラケット
- ⑤ サイレンサーステーとバンド



- ① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

【O₂センサー取付】

図のように取付け、配線をクランプ、
元通りに結線します。



標準締め付けトルク

下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。

値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。

ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。



油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。



エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。